

令和3年(2021年)7月8日(木曜日)

富士山からの地下水が湧き出る三島市立公園「樂寿園」の小浜池の水位が7日、今年最高となる156.6mを記録した。同園が「満水」とする150mを超えたのは、昨年に続く2年連続。7月の大雨が影響したとみられ、小浜池では周辺の新緑が水面に映える美しい景色が広がっている。

旧小松宮別邸「樂寿館」がほどりに建つ小浜池は、“水都・三島”的象徴として多くの人が訪れる観光スポットの一つ。同園では中央付近の池底(標高25.69m)を水位ゼロ

三島 水面に新緑映える

とし、水面の高さを毎日計測している。近年は枯渇傾向が続き、2年連続の満水は17年ぶり。昨年は9年ぶりの満水と、59年ぶりに最高水位を更新する217mを記録した。今年の最低水位は3月中旬のマイナス78mで、マイナス300mとなる年もある中で枯渇期の水位が例年よりも下がらなかつたという。5~6月も水が多く、7月の大暴雨で一気に水位が上昇した。今後の天候にもよるが、夏までは水が張った小浜池が楽しめる見通し。(三島支局・金野真仁)



2年連続で満水となった小浜池=三島市の楽寿園